

# 輝け若人

「土木技術は進化している!」そう感じるようになつたのは、高校生3年生の時だった。私は高校で土木について学んできた。一口に土木といっても、都市計画や土木施工などさまざまな授業があり、資格取得に向けて日々勉強に励んできた。

3年生になり、課題研究に取り組むことに

なつた。テマは「今後の土木技術の動き」というものだった。新しい技術を知るために、



第一工科大学 1年  
環境エネルギー工学科  
山元 蘭音 さん

第一工科大学自然環境工学科（現環境エネルギー工学科）の先生方から話を聞いた。その話では、RTKやGN

分たちが学んできた土木技術とは異なり、とてもハイテクな技術だつたからだ。「大学へ進学したら今までど

それから1年ほどの月日が経つた。現在私は、第一工科大学の環境エネルギー工学科で、土木を学んでいる。高

校とは違い90分授業。材料学などの新しい授業も入り難くなつてきただが、充実した学生生活を送つている。高校在学中に、2級土木施工管理技士や測量士補などの資格は取得することができた。大学でもさまざまな資格を取得していきたいと思っている。

高校在学中にも感じたが、私はまだまだ知らないことも多く未熟である。大学では自分の時間が増えるので、いろんなことに挑戦して自分の技術を高めた。そして、その技術を生かして、人々の暮らしを支えていくものをつくりつけていきたい。

## 最新の土木技術学ぶ

SSといった普段の授業では、聞くことのできない話に衝撃を受けたのを覚えている。自己進学を決意した。